

# 衣笠

第496号  
June.2025  
2025年6月1日発行



わたしの兄弟である  
この最も小さい者の一人にしたのは  
わたしにしてくれたことなのである

マタイによる福音書 25章40節



社会福祉法人  
日本医療伝道会  
衣笠病院グループ  
Japan Medical Mission  
<https://www.kinugasa.or.jp>



## うわまち病院移転を受けて 横須賀における 衣笠病院グループの立ち位置と役割

衣笠病院 病院長 岡村 隆一郎

2025年3月1日久里浜地域に新たに横須賀市立うわまち病院から名称を変え、横須賀市立総合医療センターとして診療拠点を構えました。横須賀・三浦地域の高次機能・救急医療体制は横須賀市立総合医療センター、横須賀共済病院、横須賀市立市民病院とあわせ3つの拠点病院を中心にますます充実してくると思われま

す。今後2040年問題を考えますと、日本の人口は減少し、横須賀・三浦市も例外なく人口減少、後期高齢者が急増する時代がやってきます。衣笠病院の役割としては、より地域に密着した医療サービスを提供し、特に高齢化が進行する中で「かかりつけ医」としての機能を強化することが求められるのではないのでしょうか。専門的な高齢者医療を強化し、在宅医療や介護との連携を密にしていく必要があるでしょう。また、人材不足となり、医師や看護師、介護職などの人材確保も困難な時を迎えるようになり、離職防止、働き方改革や業務の効率化も考えていかなければなりません。

衣笠病院は急性期、地域包括ケア、回復期リハビリテーション、緩和ケア、在宅医療を併せ持つことで住民の皆さんに医療サービスを提供してまいりました。

地域住民に対し保健、医療、福祉を提供する必要な医療機関としての役割をさらに大きくしていく必要があります。他の医療機関と密に連携し、高齢社会に対応した体制作りを進めていくことが当院に求められる大きな課題になると考えられます。現在、医療界を取り巻く環境は人件費や材料費の高騰、物価の上昇など非常に厳しい経営状況であります。グループ内において各職場同士の連携を強固にし、この困難な時代を乗り越えてまいります。

- 2 在宅医療の現場から  
衣笠病院在宅医療センター 所長 山川 泰
- 3 地域包括支援センターって？  
久里浜地域包括支援センター  
こころを聴くボランティア養成講座報告  
ボランティア衣の会 岸田 真弓
- 4 2024年度衣笠病院グループ学会報告  
衣笠病院 急性期看護課 主任 吉岡 鈴子
- 5 衣笠病院グループ歴史館 第5回  
衣笠病院の源流（その5）  
法人監事 阿部 誠  
今月の聖句  
社会福祉法人賛育会 チャプレン 山崎 正幸
- 6 新入職員紹介
- 7 薬剤DI ニュース Vol.1  
带状疱疹を予防しましょう  
衣笠病院 薬剤科  
リアルな日常がつながりを生む  
— 衣笠ホーム発 Instagram
- 8 介護用品・福祉用具 どうやって利用？  
定年を迎えた皆様  
編集後記

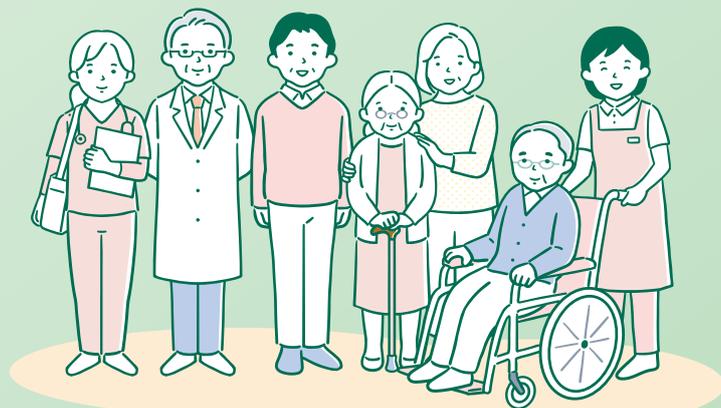


5月2日 入院患者さんの洗礼式

## 在宅医療の現場から

衣笠病院在宅医療センター 所長 山川 泰

平成20年より衣笠病院グループが『湘南国際村クリニック』を開設し、衣笠地区を中心に在宅診療を行い、湘南国際村で外来診療を行ってまいりました。平成28年より外来診療を行わず在宅診療のみの診療所の開設が可能となり、平成30年3月より『衣笠病院附属在宅クリニック』を開院しました。更に平成30年6月までに在宅療養支援診療所の施設基準を満たしたため、7月からは在宅療養支援診療所として運営しています。そして、この度診療所を改め、新たに衣笠病院の在宅部門となりました。現在常勤・非常勤を併せて医師8名、看護師4名、事務職員3名の構成となっています。常勤医師は2名であり、曜日毎に非常勤医師が勤務しています。訪問診療(往診)の対象となる患者さんは、病院への通院が困難になった方・癌の末期、難病、重度障害者の方です。衣笠病院には緩和ケア病棟があるため、当院にも末期癌の患者さんの依頼が多く、緩和ケア科の医師が支援する体制になっています。また、横須賀市・葉山町は坂や階段が多い地域ですので、階段や段差だけでも通院が困難となり、更に道幅が狭く車が入れない場所もあり、訪問する度に通院の大変さを実感させられます。患者数は概ね140~150名程度で1日に15件程度訪問しています。なお、「訪問診療」と「往診」は厳密には異なり、「訪問診療」は定期的且つ計画的に自宅へ訪問させていただくのに対し、「往診」は患者さんの具合が悪くなった時に自宅に伺う医療のことをいいます。当院の診療科は内科ですが、褥瘡(床擦れ)のある程度の処置は行いますし、非常勤医師に外科医が2名おりますので簡単な外科処置を行うことも可能です。褥瘡の改善が悪い場合や皮膚病変に迷った時は皮膚科医にアドバイスを頂いております。状態が悪くなった場合には、病院の紹介もしています。ただし、全ての患者さん・御家族が病院受診を望まれているわけではないため、24時間体制の中で患者さんや御家族と話し合いながら方針を決定しています。訪問診療と通常のクリニック・病院との大きな違いは、介護者の存在です。介護されている方は大抵大きな負担を強いられており、その介護者が倒れてしまうと患者さんは自宅で生活することができなくなってしまいます。そのため、訪問診療では患者さんのみならず、介護者の方の状態も把握していく必要があり、診療時間も長くなります。訪問診療を行っていて実感するのは、皆様が医療だけを求めているのではなく、患者さんや介護される方が話を聞いて欲しいという気持ちが強いのということです。そのため当院としましては、単に医療を提供するだけではなく、患者さんや介護者となるご家族の話に耳を傾けながら、また時に医療とは全く関係ないお話ししながら訪問を行っていきたいと考えております。そのお話の中から昔の横須賀の風景だったり出来事だったりを聞かせていただくのも、我々の楽しみの一つとしています。ころです。



# 地域包括支援センターって？



## 久里浜地域包括支援センター

「地域包括支援センター」をご存知ですか？なんとなく聞いたことがあるかもしれません。どんな機関で何をしてくれるのかを紹介させていただきたいと思います。

「地域包括支援センター」の設置主体は市町村です。「地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援する」ことを目的としています。そのため、初期段階から高齢者等や家族介護者に対して継続的・専門的に相談支援を行い、地域における様々なサービス等につなげています。配置されている職員は保健師(または経験豊富な看

護師)始め、社会福祉士、主任介護支援専門員といった専門職で、介護や医療、健康や虐待など多種多様な相談を受けています。それぞれが専門性を生かし、チームとして皆さんを支えます。

相談方法としては電話が一般的ですが、電話以外にも直接事務所へ来ていただくこともできます。また、外出が難しい方や家を空けられない方のために自宅への訪問も行っています。まずはお電話でご相談ください。担当地域が決まっていますので、相談の際はお住まいの地域を担当している地域包括支援センターへご連絡ください。

## こころを聴くボランティア養成講座報告

ボランティア衣の会 岸田 真弓

昨秋から春にかけて季節が大きく移ろう中、13年ぶりに「こころを聴くボランティア養成講座」(通算第15回)が大野高志チャプレン、櫻井唯乃先生を中心に衣笠ホームにおける講義と実習という形で全10日間行われました。温かく受け入れて下さった衣笠ホームの皆様、ご利用者の方々、毎回実際に基づいた十分なお資料をご用意くださり、ご講義くださった衣笠病院グループスタッフの皆様へ深く感謝申し上げます。大野高志チャプレン、櫻井唯乃先生改めてご労に感謝いたします。

9時半の礼拝から始まり、17時まで一日をかけての講座でしたが、受講生の方々は真摯に取り組まれていました。最終講義の後の修了式には柳井芳明常務理事より受講生11名

一人一人に修了証が手渡されました。

衣の会は2名ずつでお手伝いを致しましたが、貴重な体験を通して初心を思い出し、講義でのお話から衣笠病院グループで活動をさせて頂けることに感謝と誇りの気持ちをより強く致しました。入会された8名と共に歩む衣の会をこの先もお支えくださいますようお願い申し上げます。

一人の受講生の感想を添えさせていただきます。

「この講座の中で様々な知識やスキルが大事かと考えていましたが、最終的に教えられたのは自分を客観的に在りのまま正しく知ることが大事ということでした。今までも自分を知っているつもりではいましたが、正しく自分を知ることは難しいと思いました。しかし全てに感謝です。」



講座参加のみなさん



## 2024年度衣笠病院グループ学会報告

衣笠病院 急性期看護課 主任 吉岡 鈴子

2024年3月15日ヴェルク横須賀にて衣笠病院グループ学会が開催されました。

「魅力ある衣笠病院グループの発展にむけて～私たちが誇りをもって取り組んでいること～」をテーマに、8つの演題の発表がありました。

各部署が様々な工夫をし、住み慣れた地域でその人らしく暮らせるように、また健康が維持できるようにと取り組んでいる様子を知ることができました。衣笠病院グループを利用される地域の方々にとって、身近で頼りになる存在として発展していくことが感じられる学会でした。

発表者	発表内容
衣笠病院 栄養科	食べる機能が低下した方が、食べやすく安全な市販食品を選択できるようにする取り組み
衣笠ろうけん	飲み込む機能が低下した方の情報を多職種で共有し、眠りスキャンで無呼吸の継続的な観察、リハビリにつなげた事例
衣笠病院 臨床検査科・衣笠病院附属在宅クリニック	病院附属クリニックと病院の連携により、その日のうちに検査・診断・処方を可能にした取り組み
衣笠病院 リハビリテーション技術科	地域包括ケア病棟で行う集団体操（下肢筋力向上プログラム）の効果について
衣笠ホーム 介護課	最期までその人らしくいられるように寄り添う、衣笠ホームでの看とり介護の現状について
衣笠病院 相談・支援センター 地域連携室	地域連携室による、様々なネットワークを用いたスピーディな転院調整方法の紹介
衣笠病院ケアセンター	独居で複数の障害をもつ方が、その人らしく最期を迎えるための意思決定支援を行った事例
衣笠病院 リハビリテーション技術科	リハビリセラピストの能力向上に向けた段階的な教育プログラムの導入について



# 「衣笠病院グループ歴史館」

## 第5回 衣笠病院の源流(その5)

1950年になると黒沢良臣初代病院長が国立国府台病院長に招聘され、二代目病院長として木村良夫医師が受け継ぎキリスト教福祉病院としての歩みが始まりました。

### ⑩福祉病院としての歩み

キリストの愛を医療を通して伝えるために開設した衣笠病院は、開院時より毎朝礼拝を守り、日曜日にも職員有志が中島房男牧師と共に主日礼拝を守っていました。1948年6月には病院内に日本基督教団衣笠病院教会を開設することが出来ました。1953年4月には教会堂が与えられ今日に至っています。病院は米海軍基地病院の協力指導もあり我国ではまだ考えられなかった米国基準の衛生管理、給食提供、寝具提供などを先進的に導入につとめ、地域からの信頼を得ることが出来てきました。病院の特徴としては産婦人科医田村久弥医師を中心として「安心に、安価に、手軽に出産できる病院」作りを行いました。当時の病院での出産は布団に始まり産着、さらには米穀通帳まで持参しなければなりません。そこで退院時の乳幼児の産着などの用意のみで、あとはすべて病院が調達する便宜をはかっていました。さらには夜中でも連絡が入ると、当時病院で用意した「オオタの自動車」で送迎までもするサービスを行い、いつしか三浦半島で一番の分娩数を誇る病院となりました。また結核病棟を有し、病者に愛ある医療を行ってきたことにより、入院された方々の中から退院患者の組織が生まれ、その後多くの祈りと支援を頂いておりました。しかしながら戦後の混乱期中、医療保険加入者も少なく、医療費を支払えない人も多く、医療費の減免を多く行っていました。

### ⑪社会福祉法人へ組織変更

1952年には社会福祉事業法の施行に伴い社会福祉法人となり、無料低額診療事業を行う病院となりました。当時は今のように保険制度が整備されておらず、医療費の支払いに困難を覚える患者が多くおりました。1953年には今までの働きが認められ、天皇陛下より御下賜金を賜る栄誉を受けることができ、地域から信頼される病院になっていきました。1954年には当時としては珍しい、寝具が整備され完全看護体制が実施されていました。また1959年からは神奈川県社会福祉協議会への協力として無医村地区診療事業に積極的に参加し丹沢玄倉地区の訪問診療を年4回程実施していました。県社協の事業が終了したのちも1968年からは当院の独自の事業として古谷智恵子眼科医長を中心として毎月1回無医村地区診療を行っていました。

建物、設備は十分ではありませんでしたが、職員の愛ある医療奉仕は地域住民の方々から信頼され順調に福祉病院の歩みをしてきましたが、1960年1月6日、衣笠病院が火災を起こし16名の犠牲者を出してしまいましたことは忘れることができません。

今回は病院火災と復興の歩みをお伝えしたいと思います。

(法人監事 阿部 誠)

## 今月の聖句

社会福祉法人賛育会  
チャプレン

山崎 正幸

「私たちの  
働きの原点」

「あなたがたはそれぞれ、賜物を授かっているのですから、神のさまざまな恵みの善い管理者として、その賜物を生かして互いに仕えなさい。」  
(ペトロの手紙一 4章10節)

かつて、日野原重明先生が、「遺伝子の中によい賜物を持っていても使わないうちに死んでしまう、膨大な数の高齢者がいます」と語って、「新老人」として未知なる自分の中のよい賜物を開発しましょう、と呼びかけられたことがありました。聖句の「賜物を生かして」という言葉には、一つには、各自に与えられたよき賜物を見い出しそれを用いることを喚起する意味があるでしょう。自分では欠点や弱さだとみなしていたことが、実は隣人とのよき関わりを生み出すかけがえのない賜物だということを知ることも大切なことです。

それとともに、聖書は、その人の持つ特性や能力のことを含みながらも、根源的にはその人の存在そのものが神から与えられた「賜物」だと捉えているのです。このことはイエスが語った「タラントンのたとえ」(マタイ福音書 25 章 14 ~ 30 節)からも深く教えられます。これらの使信に傾聴するならば、聖句の「賜物を生かして」との奨励には、一人ひとり異なる人生であってもその人が神の前に喜びを持つ人生を歩んでいるかどうか、との問いが込められていることが分かります。私達は、この問いに答えて、一人ひとりの存在そのものの尊さが輝くような「福祉社会」を目指したいと思います。

そのためには「互いに仕える」ことが私達の実践の姿勢となることでしょう。「仕える」ことは、隣人を、神によって起こされたかけがえのない存在として“尊敬する”ところから始まります。その姿勢が私達のうちに温かい心を生み出し、互いに仕えあうスピリットを育むことでしょう。この聖句は、改めて私達を委ねられた社会福祉事業の原点に立たせていくのです。

## 新入職員紹介

### 衣笠病院 整形外科 医師 金子 瑛久

横須賀地域は高齢患者様が多く、外傷のみならず複数の併存疾患を抱える患者も少なくありません。そのような患者様一人ひとりにあった的確かつ丁寧な医療を提供できるよう日々真摯に取り組んで参ります。未熟者ではございますが、整形外科医として地域医療に貢献できるよう努めて参ります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

### 衣笠病院 急性期看護課 高根沢 菜々美

衣笠病院グループの一員として、患者様・ご家族含め個別性に配慮し、信頼と安心感を提供できる看護を目指してまいります。研修や実際に病棟で先輩から多くのことを学び、優先順位を考え、より良いケアに繋げていきたいと思っております。明るく優しさを心掛け、患者様が「来てよかった」と思って頂ける看護を実践してまいります。専門知識の習得や技術の向上に励み、先輩方のような自立した看護師になれるよう日々精進して参ります。

### 衣笠病院 放射線技術科 原田 美雨

このたび衣笠病院グループで診療放射線技師として医療の現場に立つこととなり、身の引き締まる思いです。まずは声かけからしっかりと学び、安全と安心を第一に検査をしたいと考えています。先輩方の姿勢を見習い、指導を受けながら、一日でも早く一人前になれるよう努めて参ります。病変を見逃さないような綺麗な画像が撮影できる技師を目指し、日々精進します。

### 衣笠病院 リハビリテーション技術科 高橋 快人

衣笠病院グループの一員として働けることを心よりうれしく思っております。患者様に来てよかったと思って頂ける病院を目指して、患者様第一のリハビリを提供できるように心がけて

いきます。まだまだ至らない部分がありますが先輩から多くの事を学び、患者様に信頼して頂けるようなセラピストになれるように精進して参ります。

### 衣笠病院 薬剤科 瀧谷 知聖

私は、衣笠病院で薬学の実務実習を経験させていただきました。そこで見た薬剤師の方々のプロフェッショナルな姿に憧れを抱き、多職種との連携も深く、相談しやすい雰囲気にも感銘を受け、病院薬剤師を目指す決意をしました。ご縁があり、衣笠病院グループの一員となることができましたので、患者様と医療従事者のどちらからにも信頼される薬剤師を目指し、1人でも多くの方に「来てよかった」と言っていただけるよう貢献していきたく思います。

### 衣病訪問看護ステーション 進藤 紀子

このたび、ご縁があり訪問看護ステーションに入職いたしました。住み慣れた家でその人らしく暮らす。そんな当たり前の幸せを支える存在でありたいと思っています。喜びや不安に寄り添い、時には笑いあいながら心の通う看護を届けていきたいです。学びを深めながら、地域に根ざした温かいケアを実践していきます。皆さまとの出会いを大切にしながら成長していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

### 長瀬ケアセンター訪問介護事業所 森川 綾乃

この度、衣笠病院グループの一員として訪問介護に携われることを、大変嬉しく有り難く思っております。ご家庭で暮らしている方々の生活を支える一端を担えたらと訪問介護の職を希望しておりました。利用者様とのコミュニケーションを大切に、諸先輩方に教授いただき職務を果たせるように精進していく所存です。今後とも宜しく願い致します。



# 薬剤

# DI

## ニュース Vol.1

### 带状疱疹を予防しましょう



带状疱疹とは水痘带状疱疹ウイルスが原因で発症する皮膚の病気の一つで、高齢者の3人に1人が発症すると言われています。発症すると水膨れができ、場合によっては症状が治まった後も、神経のピリピリした痛みが長期間続き、日常生活に大きな影響を及ぼす可能性があります。

そのため、带状疱疹は発症させないことが大切で、带状疱疹の発症やその後の神経痛を抑えるワクチンが有効とされています。

带状疱疹の予防ワクチンは、2025（令和7）年度から定期接種の対象となり、横須賀市でも費用の一部を補助する制度が始まりました。当法人の健康管理センターでも带状疱疹ワクチンの予防接種を行っていますので、この機会にぜひご利用ください。（衣笠病院 薬剤科）

## リアルな日常がつながりを生む — 衣笠ホーム発 Instagram

「衣笠ホームの魅力をもっと外に届けたい！」そんな思いから、20代の社会福祉士が立ち上がり、2023年12月24日にInstagramを開設しました。

ご家族・入居検討されている方向け「@kinugasahome」と、リクルート用「@kinugasahome\_staff」の2つを運用中です。

“ありのまま”の日常を発信する中で、特に話題となったのが、165万回以上再生された「看取り期の結婚記念日」のリール動画。

これをきっかけに入職・入居を決めた方も。画面越しでも、伝わるものがあります。ぜひご覧ください！



@KINUGASAHOME\_STAFF

## 介護用品・福祉用具 どうやって利用？

介護用品や福祉用具は、要介護者の生活を快適にするだけではなく、お世話をする家族の負担を軽減させるものです。どうやって利用するのか？どんなものがあるのか？をシリーズでお伝えします。

今回は介護支援専門員(ケアマネジャー)が説明します。

介護用品と福祉用具は、どちらも介護が必要な高齢者や障がいがある方の生活支援を目的とした道具です。介護用品を使うには、購入する方法とレンタルする方法があります。なかでも介護保険サービスを利用して購入・レンタルできる道具や装備を福祉用具といいます。

介護保険が適用となるレンタル可能な福祉用具は13種です。(車椅子、介護ベッド、手すり、杖など)

介護保険の福祉用具は、レンタルできることを原則としています。ポータブルトイレや入浴用のイスなど、他の利用者との共有に心理的抵抗が伴う介護用品はレンタルできず、購入が前提となります。

福祉用具を利用する際、まずは介護支援専門員(ケアマネジャー)に相談することから始まります。

相談後、居宅サービス計画書の作成が行われます。その後、本人や家族の希望をはじめ、本人の身体機能や生活環境・既往歴などの情報から、必要な福祉用具と福祉用具貸与事業者を選定します。「福祉用具貸与事業者」とは、市区町村の指定を受けた福祉用具のレンタル業者です。指定事業者には、専門知識を持った「福祉用具専門相談員」が配置されており、居宅サービス計画書に基づいて福祉用具貸与・販売計画を作成されレンタルが開始されます。

次回より福祉用具専門相談員による各種福祉用具を紹介をします。



## 定年を迎えた皆様

あなたの出で立つのも帰るのも 主が見守ってくださるように。  
今も、そしてとこしえに。 詩編 121:8



3月31日の  
定年職員退任式における記念写真

13名の方が定年を迎えられ、  
10名の方が式に出席されました



## 編集後記

新入学、新入職など多くの方が新しい生活を始められていると思います。私自身の周りにおいても人の入れ替わりがありました。変化することにより難しいこともありますが、新たに学ぶことも多くあり、自分自身を見直す良い機会ともなっています。また、そうした節目に勤務する施設(衣笠ろうけん)は30周年

を迎えることとなりました。30年という月日を顧みて、良い部分やより改善しなくてはならない部分を考える節目にもなっています。様々な変化に対応することが必要な世の中ではありますが、私たちは衣笠病院グループ内の施設として行わなければならないことを考え、実行し、30年の積み重ねが間違いでなかったと示せるよう行動していきたいと思います。新たな生活を送られる方々と共により良い未来が開けますように。(Y.N.)

## 「衣笠」No.496

2025年6月1日発行

発行人 古屋 修身

発行 社会福祉法人

日本医療伝道会衣笠病院グループ

〒238-8588 横須賀市小矢部2-23-1

TEL. 046-852-1182 (代表)

郵便振替口座 00220-2-13963

編集 社会福祉法人日本医療伝道会  
広報委員会

印刷 (株)ポートサイド印刷

